

平成31年第1回臨海部広域斎場組合議会定例会における議決結果等について

1 開催日 平成31年2月6日(水)

2 議決結果

議案番号	件名	提案趣旨	議決結果
議案 第1号	平成31年度臨海部広域斎場組合一般会計予算について	平成31年度臨海部広域斎場組合一般会計予算の歳入歳出予算の総額を定める。 総額:653,120千円(資料1のとおり)	可決

3 懇談会

資料番号	件名	資料の概要
資料1	臨海斎場利用状況 平成29年度・30年度比較表(4月～12月)	臨海斎場の各構成区(港区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区)の29年度と30年度の火葬場、葬儀式場等の利用状況。
資料2	臨海部広域斎場組合同規約改正に関する手続きについて	臨海部広域斎場組合同規約の一部変更に関する手続きについての現在の状況及び今後の予定。
資料3	今後の臨海斎場組合事務局の体制について(概要)	臨海斎場組合事務局の体制上の課題及び課題解決の対応案等。
資料4	平成31年4月からの火葬受入れ件数の拡大について	火葬炉の入替えの完了に伴う平成31年4月からの最大受入れ件数の拡大。

以上

平成31年度臨海部広域斎場組合当初予算案について

歳入

(単位：千円)

予算科目	31年度	30年度	増減額	増減率	主な増減理由
分担金及び負担金	150,000	331,615	-181,615	-54.8%	臨海斎場開設時の地方債の償還完了に伴う組織区負担金の減
使用料及び手数料	487,574	478,134	9,440	2.0%	
財産収入	10	10	0	0.0%	
寄付金	25	25	0	0.0%	
繰入金	0	55,000	-55,000	-100.0%	
繰越金	15,000	15,000	0	0.0%	
諸収入	511	513	-2	-0.4%	
合計	653,120	880,297	-227,177	-25.8%	

歳出

(単位：千円)

予算科目	31年度	30年度	増減額	増減率	主な増減理由
議会費	95	95	0	0.0%	
総務費	49,885	43,620	6,265	14.4%	人件費
衛生費	588,140	609,966	-21,826	-3.6%	
公債費	0	211,616	-211,616	-100.0%	臨海斎場開設時の地方債の償還完了
予備費	15,000	15,000	0	0.0%	
合計	653,120	880,297	-227,177	-25.8%	

【懇談会資料】

平成30年度臨海斎場利用状況（平成29年度・30年度比較表（4月～12月））

① 火葬場利用状況 組織別

	合計			港		品川		目黒		大田		世谷		区内計		区外	
	予約可能 件数	利用件数	利用率	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	利用件数	構成比	
29年度	7,434	5,272	70.9%	196	3.7%	931	17.7%	192	3.6%	3,264	61.9%	472	9.0%	5,055	217	4.1%	
30年度	7,800	5,389	69.1%	226	4.2%	1,026	19.0%	183	3.4%	3,334	61.9%	434	8.1%	5,203	186	3.5%	
増減数		117		30		95		△9		70		△38		148	△31		

①  
・平成30年度12月までの火葬件数は、前年度比117件増加した。  
・利用件数は、港区、品川区、大田区で増加した。

② 葬儀式場利用状況 組織別

	合計			港		品川		目黒		大田		世谷		区内計		区外	
	予約可能 件数	利用件数	利用率	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	構成比	利用件数	利用件数	構成比	
29年度	1,056	1,036	98.1%	44	4.2%	246	23.7%	30	2.9%	625	60.3%	82	7.9%	1,027	9	0.9%	
30年度	1,056	1,035	98.0%	46	4.4%	276	26.7%	25	2.4%	617	59.6%	64	6.2%	1,028	7	0.7%	
増減数		△1		2		30		△5		△8		△18		1	△2		

②  
・平成30年度12月までの式場利用率は98%と高い。  
・利用件数は、港区、品川区で増加した。

③ 火葬時間帯別利用状況

	9:00～ (1日4件)			10:00～ (1日4件) (5月～10月 1日3件)			11:00～ (1日4件)			12:00～ (1日4件) (5月～10月 1日3件)			13:00～ (1日4件)			14:00～ (1日4件) (5月～10月 1日3件)			15:00～ (1日4件)			16:00～ (1日4件) (5月～10月 1日3件)			合計 (1日32件) (5月～10月 1日28件)		
	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率	予約可能 件数	利用 件数	利用率
29年度	1,056	331	31.3%	894	568	63.5%	1,056	992	93.9%	894	875	97.9%	1,056	950	90.0%	894	681	76.2%	1,056	629	59.6%	528	246	46.6%	7,434	5,272	70.9%
30年度	1,056	320	30.3%	894	576	64.4%	1,056	976	92.4%	894	861	96.3%	1,056	969	91.8%	894	705	78.9%	1,056	656	62.1%	894	326	36.5%	7,800	5,389	69.1%
増減数		△11			△8			△16			△14			△19			△24			△27			△80			△117	

④ 火葬待合室等利用状況

	火葬 件数	火葬待合室 利用件数   率	葬儀式場 利用件数   率	待合・式場等利用なし 件数   率
29年度	5,272	2,008   38.1%	1,036   19.7%	2,228   42.3%
30年度	5,389	2,064   38.3%	1,035   19.2%	2,290   42.5%
増減数		56	△1	62

面会室利用* 件数   利用率
1,457   27.6%
1,496   27.8%
39

※面会室は、無料10分程度の利用が可能。  
(時間あたり2枠、1日最大16枠まで)  
※利用の際の人数は10名程度でお願いしている。

③  
・平成30年度は、5月～10月の火葬炉入替工事期間中、10時・12時・14時・16時の枠をそれぞれ1日3件とし、1日の予約可能件数を最大28件とした。  
・利用件数は、10時・13時・14時・15時・16時で増加した。  
・平成30年度から16時枠を2件から4件に増枠した。

④  
・火葬待合室利用件数は、前年度比56件増加した。  
・「待合・式場等利用なし」の火葬件数に対する割合は、42.5%となり、増加傾向が続いている。  
・面会室の利用件数は前年度比39件増加した。火葬件数に対する利用率も27.8%と若干増加した。

⑤ 火葬料減免状況

	火葬 件数	減免 件数	減免率
29年度	5,272	565	10.7%
30年度	5,389	640	11.9%
増減数	117	75	

⑤  
・減免件数は前年度比75件の増で、減免率は11.9%と増加した。

⑥ 保冷庫利用状況

	件数	利用率*	区内件数	区外件数
29年度	5,198	79.0%	5,153	45
30年度	5,108	78.8%	5,061	47
増減数	△90		△92	2

⑥  
・利用件数は前年度比90件減少したが、利用率はほぼ横ばいの状況。

※「利用率」は稼働日数×庫数に対する割合

臨海部広域斎場組合同規約改正に関する手続きについて

1. 現在の状況

臨海部広域斎場組合同規約の一部変更に関する議案は全ての組織区議会平成30年第4回定例会において可決された。

2. 手続きについて

時期	組織区	組合事務局
平成31年1月中 (完了)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 議会事務局へ議決謄本の請求、臨海斎場組合への送付</li> <li>● 「臨海部広域斎場組合同規約の変更に関する協議書」締結に関わる決裁（区長印）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「臨海部広域斎場組合同規約の変更に関する協議書」への組織区区長印、押印 ※持ち回りで7部作成します。</li> <li>● 「臨海部広域斎場組合同規約の変更に関する協議書」（押印済）の組織区への送付</li> </ul>
平成31年2月中		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区長・議長懇談会にて状況報告</li> <li>● 必要書類調製</li> </ul>
平成31年3月初旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「臨海部広域斎場組合同規約の変更に関する協議書」の公表（公告）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都知事に対して組合同規約変更の届出</li> <li>● 「臨海部広域斎場組合同規約の変更に関する協議書」の公表（公告）</li> </ul>

3. 施行予定日

平成31年4月1日施行予定。

【懇談会資料】

今後の臨海部広域斎場組合事務局の体制について

1. 背景と経緯

臨海部広域斎場組合は設立 20 年目となる。火葬件数は開場時と比較して約 1.8 倍となり、今後も増加が見込まれる。将来に向けて更なる区民サービスの拡充と事業推進力の確保という観点から、改めて事務局体制のありかたを検討した。

2. 将来像と課題の整理

(ア) 事務局の体制上の課題

① 職員派遣期間の短さ

事務局の人員は、組織区からの派遣で 2 年間。2 年毎に事務局員が全て入れ替わるため、事務改善や経験・過去の情報の蓄積が組織として困難。

② 技術職不在

技術職が不在のため、来年度以降予定されている大規模修繕を含めた様々な修繕・更新の対応が困難。

(イ) 課題解決の方向性と将来像

組合設立時の「必要最小限の人員で効率的な事務の遂行を行う」方針は尊重しつつ、現実的な環境変化や事務量に応じた事務局体制を再構築。

① 職員の派遣期間について

組織としての専門知識や経験の蓄積を図るため、管理職・事業担当係長を除く職員の派遣期間を原則 3 年とする。

② 人員数について

1. 通常業務：業務量の更なる増加が見込まれるものの、現状通り組織区から一定の協力をいただける前提のもと現行体制で対応。

2. 施設整備業務：

(ア) 建築・機械・電気の各専門職の配置は困難なため、組織区の技術系所管課から支援いただくことで対応（臨海斎場組合との併任等）。

(イ) 今後の工事修繕案件の増加を見据え、中期的に技術職 1 名程度を追加で配置することも検討。

3. 対応案とスケジュール

(ア) 職員の派遣期間について（管理職・事業担当係長を除く）

2019 年度の港区派遣者以降、原則 3 年派遣とする。

(イ) 人員数について

① 既存施設の大規模修繕や施設整備基本方針の再精査などが予定されており、相当程度の業務量が見込まれる 2024 年度（開業 20 年目）を目途に、定数条例を改正して技術系職員の人員増を図ることを検討する。但し、必要性や派遣区、職層等については前年度に改めて組織区と協議を行う。

② 2024 年度までの既存施設の修繕・更新は組織区からの一定の支援を受けることで対応。具体的な支援方法や技術系職員の併任の場合の配置等については関係区の技術系所管・人事課と調整中。

③ 2026 年度以降に予定されている施設増築を見据えた事務局体制については、今後の状況を踏まえて組織区と協議を行っていく。

【懇談会資料】

平成31年4月からの火葬受入れ件数 の拡大について

1 火葬受入れ件数について

・臨海斎場は組織区との協議を経て、旧型の火葬炉（平成16年稼働）について、平成26年度に2基、平成28年度に2基、平成29年度に2基、平成30年度に2基の入替えを実施してきた。

・平成30年度4月から、16時の火葬枠2件を4件に増やし、合計32件の火葬受入れ件数に変更した。

・平成30年度に火葬炉の入れ替えが完了したため、人的体制を整備のうえ平成31年度4月中から最大受け入れ件数を35件に拡大する。

- ・受け入れ時間は、10時、12時、15時の火葬枠4件を5件とする。
- ・1炉の最大回転数は4回転／日となる。

平成30年度



平成31年度4月中以降

時間帯	件数
9時	4
10時	4
11時	4
12時	4
13時	4
14時	4
15時	4
16時	4
計	32

時間帯	件数
9時	4
10時	5
11時	4
12時	5
13時	4
14時	4
15時	5
16時	4
計	35

2 留意点

・一つの炉において、火葬開始から冷却・収骨終了までは、葬家へのご遺骨確認を含めて最短で1時間40分以上必要となる。連続した時間帯を5枠で運用するのは、葬祭業者の到着遅延や急な機械故障等のトラブルが発生すると、五月雨式に後の予約に多大な影響が発生するため、リスクヘッジの観点から一定の間隔を空けて5枠に増枠する。

・受入枠数の35枠へ拡大にあたっては、ご葬家・参列者にご迷惑が掛からないように慎重に開始し、運用状況を見ながら調整を行う。